

令和5年度 モデル事業参加企業・対象製品・成果



■ 令和5年度モデル事業では5件を選定。製品では無く、サービス（イベント）のCFP算定にも取り組んだ。

甲子化学工業株式会社

チヨダ物産株式会社

株式会社ハースト婦人画報社

マルハニチロ株式会社

ミニストップ株式会社

対象製品
・サービス
(予定)



HOTAMET
(防災ヘルメット)



HYDRO-TECH
ビジネスシューズ



イベント
「ELLE ACTIVE! FESTIVAL 2023」

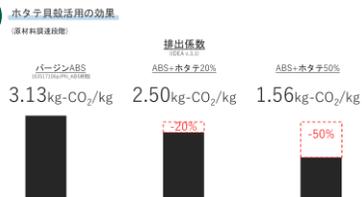


市販冷凍食品
(白身魚フライ)



ソフトクリーム
(食べるスプーン付)

実績
(一例)

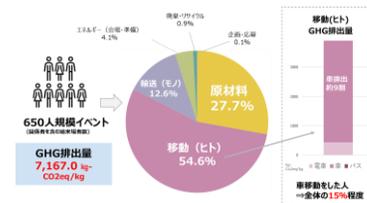


廃棄されていたホタテの貝殻を使用することでプラスチックのみで作られたヘルメットよりも原材料調達段階の排出量において優位性が認められた

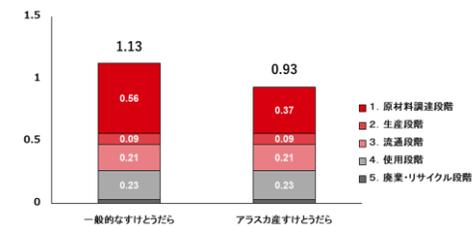


カーボンフットプリント(CFP)とは
商品の原材料調達、生産、流通販売、使用、廃棄・リサイクルに至るまでに排出される温室効果ガスを二酸化炭素(CO₂)量に換算し表示したものです。
排出量はISO規格に準拠しています。

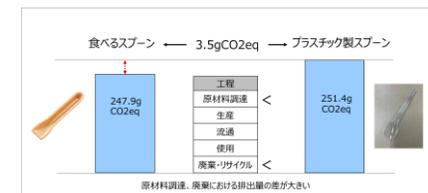
新製品のCFPの算定結果を製品に表示することで、顧客向けのブランディングとして活用した



イベントにおける大きな排出源は人の移動段階であり、特に関係者や機材の移動に係る車の移動による排出が多いことを確認した



MSC認証のアラスカ産すけとうだらの排出係数を用いることにより、一般的なすけとうだらと比較してGHG排出量を削減した



従来プラスチックスプーンと比較して、食べるスプーンの方が原材料調達及び廃棄・リサイクル段階において優位性が認められた

令和5年度モデル事業での取組 -甲子化学工業株式会社-

- 廃棄されていたホタテの貝殻を使用することで、プラスチックのみで作られたヘルメットよりも排出量が削減されることを定量化。また、GHG排出削減に向けては、消費者のリサイクルに対する協力の必要性も明らかになった。

選定商品

防災ヘルメット「HOTAMET」

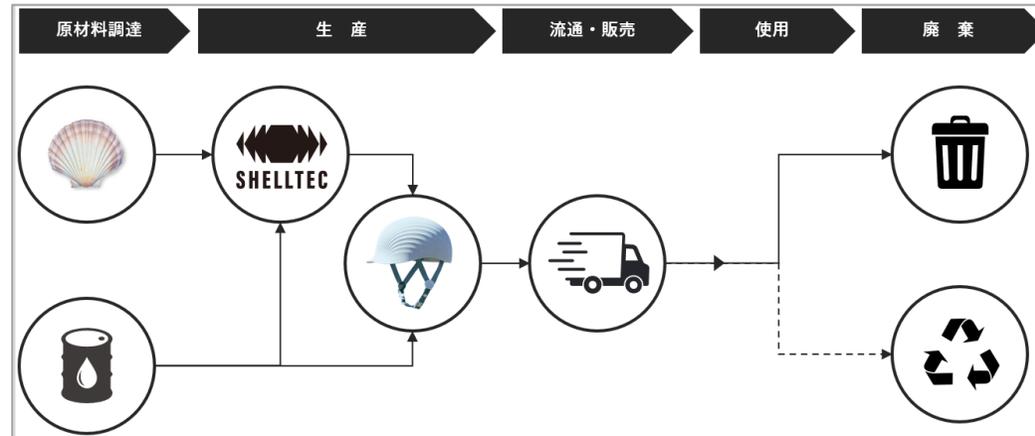


付属説明書

CFP活用策

ブランディング

- 2025年の万博に出展し、廃材を活用することのメリットをアピールする予定
- 商品パッケージにCFPの数値を掲載し、顧客の行動訴求につなげる予定



ライフサイクルステージ



製品表示イメージ

GHG排出量削減

- 付属説明書内で、顧客の行動による排出削減量を定量化してリサイクルなどのお願いをすることで、廃棄段階での排出量削減も図る

令和5年度モデル事業での取組 -チヨダ物産株式会社-



- CFPの算定結果を製品に表示することで、顧客向けのブランディングとして活用。また、今後算定に取り組む他社向けに、自社のCFP算定の取り組み方法について公開する予定

選定商品

紳士靴「ハイドロテック ウルトラライト」3品番



HD1504



HD1505



HD1506

- 算定サイズ25.0cm

CFP活用策

- それぞれの結果を顧客が確認できるように製品上や広告で表示予定



- 今後算定に取り組む企業の参考になるよう、親会社HPに詳細情報の入った算定ツールを公開

令和5年度モデル事業での取組 -株式会社ハースト婦人画報社-



- モデル事業初のサービス事業として、ライフサイクルステージのバウンダリー設定から検討。今後はCFPの算定結果について、積極的に発信し、社会の意識・行動変容の促進を目指す

選定商品

SDGs関連イベント
「ELLE ACTIVE! FESTIVAL 2023」

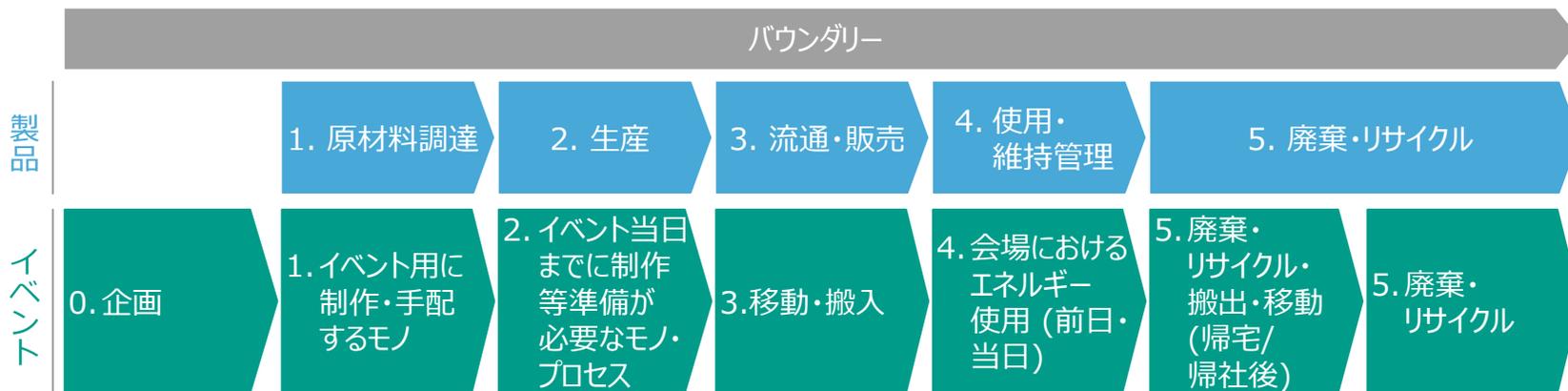


CFP算定結果

| 属性別排出量 | 2023年時 | |
|---------------|----------------|-------|
| | kg-CO2eq/kg | 排出量割合 |
| 企画/応募 | 10.7 | 0.1% |
| 原材料 | 1,986.0 | 27.7% |
| 移動 (ヒト) | 3,915.7 | 54.6% |
| 輸送 (モノ) | 900.0 | 12.6% |
| エネルギー (会場・準備) | 293.4 | 4.1% |
| 廃棄・リサイクル | 61.2 | 0.9% |
| TTL排出量 | 7,167.0 | |

サービスにおけるCFP算定方法の検討

- サービス (イベント) のバウンダリーは一般的な製品と合致しないため、ISOに基づき自社で検討した
 - 企画段階や、人の移動なども含まれる



CFP活用策

ブランディング

- CFPの算定結果をメディアとして広く伝えていく予定

令和5年度モデル事業での取組 -マルハニチロ株式会社-

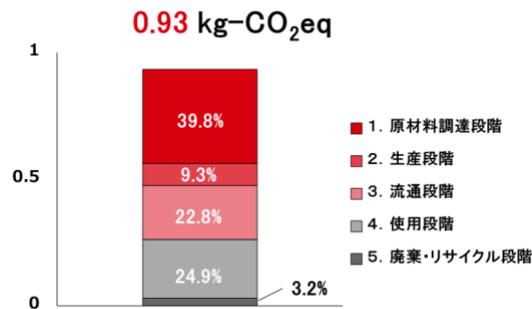
■ 対象製品の主な原材料である、MSC認証のアラスカ産すけとうだらの排出量削減効果をアピール

選定商品

冷凍食品「白身魚タルタルソース」



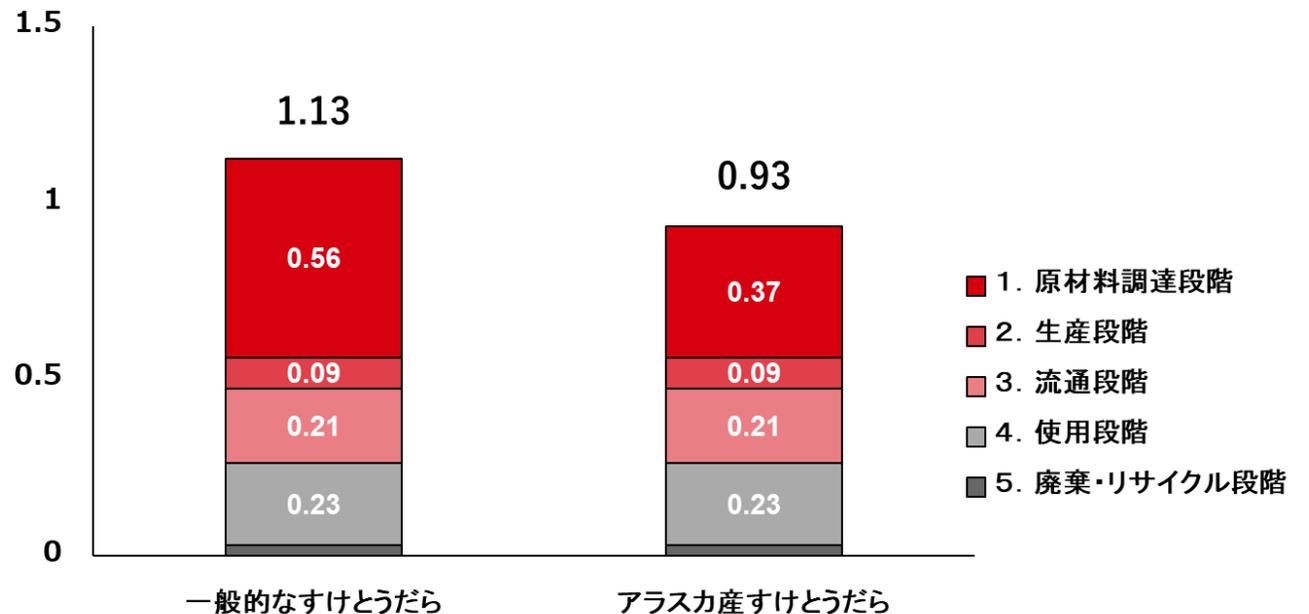
CFP算定結果



CFP活用策

ブランディング

- 対象製品の原材料である、MSC認証のアラスカ産すけとうだらを用いた場合の排出量削減効果をアピール



- CFPの算定結果を商品や店頭で積極的に表示することで、お客さまの行動変容につなげることに加え、サプライヤーとも積極的に協力していくことを検討

選定商品

「ソフトクリーム バニラ（食べるスプーン付）」



CFP算定結果

ソフトクリームバニラ
食べるスプーン付
算定結果

(247.9g-CO₂eq)
(0.2479kg-CO₂eq)

CFP活用策

ブランディング

- 製品の包装や店頭などで算定結果の表示を検討、消費者の行動変容につなげる想定

製品への表示（スリーブ）



イメージ図

販促物への表示（メニューコルトン）



イメージ図

GHG排出量削減

- 原材料の調達先であるサプライヤーなどのサプライチェーン上流との協力も含めた施策を検討